

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課

会議名 令和6年度第1回諏訪市図書館協議会

開催日時 令和7年2月5日(水)午後3時30分～4時30分

開催場所 諏訪市図書館 第1会議室

出席者 (出席委員) 矢崎委員長・八代副委員長・高橋委員・平林委員・土田委員・牛山委員・野口委員  
(欠席委員) 村瀬委員・藤田委員  
(事務局) 三輪教育長・細野教育次長・五味生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査  
(オブザーバー) 今井教育委員

資料 第二次諏訪市教育振興基本計画及び第4次諏訪市子ども読書活動推進計画に基づく、令和6年度の重点的取組について 等

## 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

- 1、開会(五味生涯学習課長)
- 2、自己紹介
- 3、教育長あいさつ
- 4、委員長あいさつ
- 5、報告事項
  - ・第二次諏訪市教育振興基本計画及び第4次子ども読書活動推進計画に基づく令和6年度の重点的取組について
- 6、協議事項
  - ・「本と人、人と人をつなぐ図書館」について(意見交換)
- 7、その他
- 8、閉会(今井教育委員)

### <主要意見>

- 朗読会を行ったところ手ごたえを感じた。大人も本と触れ合う、そのような場があってもいいのではないか。
- 「本棚プロデュース」は良いと思う。自分が選んだものがほかの人にも選ばれる、というのは非常に嬉しい体験。本の紹介文を書くのは大変なので、お気に入りフレーズを募る特集や場を設けるのはどうか。
- 図書館はどうしても「静かに過ごす」というイメージが強い。触れ合う場を設定するのであれば、声が気にならないスペース設定が必要。ただ、読み聞かせや朗読の声はあまり気にならないように感じる。
- 一般の利用者が自由に絵やフレーズを書ける紙があり、書いたものを自由に掲示できるコーナーがある図書館があって楽しかった。「この本いいな」を利用者が気楽に発信できる場となっていた。
- 子どもは周囲をよく見ている。子どもの物理的な目線で本の展示などを行うと更に本好きになるのでは。
- 「ゆるやかな参加」「離脱可能」というキーワードが大事。長年活動している場には新規で参加しにくい。
- お金はかかるが、著名な作家を招いてのイベントを開催してはどうか。従来来館しないでいた層も含めて、図書館に足を運ぶ契機となる。
- 「本の相談＝レファレンスサービス」が知られていない。勿体ないので表示など工夫して周知して欲しい。